

しまねろうふく

2008.4
Vol.360



保育所（園児17人）、三原小学校（児童18人）と地域が一体となった大運動会

〈目次〉

- わたしの職場は、地域が元気！……2
- 種々雑感「しまねろうふく」投稿 ……2
- 第38回西部労福協定期総会報告 ……3
- 島根県生活協同組合連合会 ……4
- マネートラブルにかつ！……5
- ろうきんからのお知らせ ……6
- 全労済島根県指定整備工場協議会からのお知らせ ……7
- 各地区労福協活動のご紹介 松江地区労福協 ……8

特集

わたしの職場は、 地域が元気！

邑智地区 労福協



次回は 6月1日(日)発行です

わたしの職場は、地域が元気！

邑智地区労福協 会長 有田 恭二

三原地区は世帯数約300、人口約700人の川本町の中の農村地帯です。48.3%という高齢者率の中、地域行事は400年の歴史を持つ小笠原流田植え囃子(保存会が三原小児童に指導して継承されている。写真①)に始まり、地域の行事がいろいろと催されていきます。



写真① 田植え囃子

そして7月にはいと、地域の人のボランティアにより「通学合宿」(写真②)があります。19年度は複式学級のため1人だけとなる3年生を含めて実施しました。5回目の開催となったこの企画は4月中旬から会合を重ねて7月4日から7日までの間、北公民館に寝泊まりし3日目の夜は民泊です。肝だめしなどは自治会青年部の協力で迫力満点。子どもたちにとっては「怖くて一番思い出に残ること」として強い印象に残る企画でした。そして、民泊はいつもは顔をあわさない地元の人の家庭に泊めてもらって、子どもたちはより深い地域との交流を図っています。



写真② 夕食づくり

そうこうするうちに夏休みにはいと、読書ボランティアの人たちがゲームと流しソーメンなどで夏休みの時間をすごす企画を公民館と一緒に実施しますし、小・中学生が公民館に集まって遊んでいます。廃校になった校舎の探検をしたり、卓球やボール遊びでにぎやかな声がワイワイガガヤとする中、わたし自身もゴソゴソと動き出して汗をかくて楽しんでいる時間でもあります。

秋にはいと先ずは表紙に使った写真のとおり「ふれあい大運動会」。競技は園児や児童、自治会対抗などホント盛りだくさん、年齢・体力にあわせた競技に一生懸命で、声援と笑いに包まれていました。

「きんさい祭」と名付けられた地区の収穫祭も、自慢の作物の持ち寄りや品評会が開催されます。公民館の集会室は自慢の一品で、生産者の顔が見える収穫祭です。特設の舞台

では神楽の上演があり、地元の人による多数の屋台の出店(写真③)に加え、今年は移動式のピザ釜をつくった人の自家製ピザの販売も好評で、あいにくの雨模様も楽しい一日となっていました。



写真③ 収穫野菜が卓上に

お宮の祭礼は小学生の巫女舞に始まり、村祭りらしい雰囲気ですが、かつてあった露天商による出店はなく、時代の移り変わりを感じさせます。

地元の秋の企画の最終章は、都会地の子どもたちとの交流をした「三原の自然体験交流」です。1泊2日で実施する交流ですが、自然体験交流にふさわしい企画をと公民館で地元ボランティアの人たちの入念な打合せのもと、11月3日～4日に民泊を体験して実施されました。地元の子どもたちでさえも新鮮に感じたという三原の自然を散策し(写真④)、おじいさんやおばあさんの技をわら草履づくりで体験し、芋煮会や餅つきでは食の楽しみなどを体験して、わずか2日間で田舎暮らしを垣間見た、地元の子どもでさえなかなか経験することのない交流会となっていました。別れを惜しむ子ども4人が、親の許しを得て広島へ送りに行ったのも印象的でした。



写真④ 自然を語る地元の人

さて、冬です。三原の歴史は世界遺産に登録された石見銀山とも関わり、1530年代に2年間、同銀山を治めたという小笠原氏ゆかりの居城があり、数々の銀山攻防に大きな役割を果たしました。その歴史は地域の誇りともいえ、公民館では石見銀山資料館の仲野館長を迎えて歴史講演会を開催しました。公民館には多くの歴史愛好家や地元の人が来館し、三原の歴史に聞き入っていました。

これがわたしの勤めている三原地区の様子です。元気のある地域が元気であり続けるためにも、働く人たちが元気であり続ける環境が必要です。労福協活動は地域の元気を支える活動でありつづけていきたいと思います。

種々雑感
「しまねろうふく」投稿

支えあう気持ち

副会長 仲田敏幸



9月から放映されるNHKの連ドラ「だんだん」。「出雲が持つ縁」をテーマに捉えたものときいた。都市がなくなった歴史や素朴な人柄・自然・風景が舞台の決め手だという。

日本人が本来持っている良さが島根には残っているとの評である。島根っ子としてはうれしい評価として受け止めたい。「疲弊した島根、医療や福祉の顕在化する格差、景気回復の実感もない」

現実そういう状況ではあるが、「勝ち組み(都会)」が忘れたものが島根にはあることを誇りにしたい。

労福協が目指す「ワンストップサービス事業」の精神は、困っている人をほっておかない。ほっておけない。地域の拠り所となることである。端的に「一度の手続きで、必要とする関連作業をすべて完了させられるシステム」だけであってはならない。

連合島根や事業団体の協力を得て、島根らしい労福協ならではのワンストップの窓口を開きたいものである。大切な「支えあう気持ち」が島根には、まだまだ残っている。

西部労福協 第38回 定期総会

労福協

第38回西部労福協定期総会報告

2008年2月21日(木) 14時30分～

報告者 出雲地区労福協 福間三郎

第38回労働者福祉西部協議会定期総会が、香川県坂出市の「坂出グランドホテル」において、中国・四国各県労福協から60名あまりが出席して盛大に開催されました。

冒頭、坂根会長は挨拶のなかで、「政治、経済情勢は依然として混沌としている。小泉、安倍、福田政権下で、格差・貧困の拡大などによって国民生活は将来が見通せない大きな不安を抱えている。労働者が働く環境も、非正規雇用の拡大は深刻さを増し、若者が将来に希望を見出せない状況である。今こそ労福協、連合、労金、全労済がしっかり力を合わせて、国民、勤労者の生活を守り、家庭・家計の安心に向けしっかり対応していかなければならない」と述べ、労福協運動強化の必要性について強調しました。

来賓の笹森中央労福協会長は、貸金業法改正の成果に触れ、「労福協活動は、さまざまな社会運動の接着剤になれるはずである。深刻化する貧困と格差対策の運動の核になれるのが労福協であり、ねじれ国会の今、運動前進の絶好のチャンスである」と積極的な運動展開を呼び掛けました。続いて、松浦坂出市長、地元香川県労福協の小川会長より歓迎の挨拶を受けました。

続いて議事に入り、全議案が全会一致で承認され、以下の2008～2009年度新役員選出に続きスローガンを採択して閉会しました。

総会に続いて、「裁判員制度を考える」と題した記念講演が行われました。講師の佐藤武彦高松地方裁判所長は、高木連合会長と大学で同期生だったことなどの話題を織り交ぜながら、司法に市民が参加する国が80カ国以上あること、日本でもかつて陪審員制度があったこと、今回の制度は国会において全会一致で採択されたことなどを紹介しました。また、日本人になじみにくいと感じられる背景には、儒教文化と「お上」意識があるのではないかとし、司法を裁判官だけにまかせていいのか、裁判員制度は民主的な制度であり、権力の暴走を如何に防ぐかという視点で捉えてほしいと熱弁を揮いました。参加者からは、「離島や遠隔地を抱える島根県などでの裁判員選任にあたっての配慮、費用弁償や守秘義務」について質問した大崎島根県労福協会長ほか多数の質問や意見が交わされ、有意義な記念講演となりました。

以上

メインスローガン

**活力ある福祉社会・
地域共生で暮らしに夢を!!**

サブスローガン

- ◆労働組合・福祉事業団体・NPOとの連携をはかり「勤労者の暮らしサポート事業」を充実しよう!
- ◆「行動し、提案する労福協」への自己変革をはかり21世紀にふさわしい自主福祉活動に取り組もう!
- ◆重点政策課題の実現に向け、地域での取り組みを強化しよう!
- ◆中央・西部・各県労福協が一体となった活動で「温もりのある福祉社会」を実現しよう!

2008～2009年度西部労福協役員

会 長	小川 俊	(香川県労福協会長)
事務局長	杉林 利夫	(香川県労福協専務理事)
幹 事	山中 武将	(鳥取県労福協専務理事)
	神門 至	(島根県労福協事務局長)
	枝木 俊彦	(岡山県労福協事務局長)
	古瀬 順司	(広島県労福協事務局長)
	加藤 栄	(山口県労福協専務理事)
	鷺澤 光夫	(愛媛県労福協理事)
	久積 郁郎	(徳島県労福協専務理事)
	藤岡 高之	(高知県労福協事務局長)
会計監事	小泉 俊一	(鳥取県労福協事務局長)
	阿佐喜八郎	(徳島県労福協監事)

「平和とよりよいくらしのために」

島根県生活協同組合連合会

生協は、安心して毎日を過ごすことのできる地域社会と豊かな未来を求め、様々な活動をしています。

島根県議会議員・島根県生協連懇談会の開催

島根県生協連は、2月21日に島根県議会議員（民主県政クラブ、無会派の議員の皆様）の皆様との懇談会を実施しました。

島根県議会議事堂別館で開催された懇談会は、11名の議員の皆様と生協から7名が出席しました。

懇談会は、事務局より生協連の組織概要、取組み内容を報告した後、この間、多くの消費者、生協組合員にご迷惑をおかけしている「CO・OP手作り餃子等による重大中毒事故について」状況報告を行い懇談に入り

ました。

議員の皆様からは、生協として行っている検査の状況・検査体制についての質問や農業のおかれている厳しい状況の中で、生協として地産地消の取組みをもっと推進して欲しいなど要望が出されました。

また、自給率39%と輸入に頼っている現状で、国の検査体制はあまりにも不十分な状況にある。生協としての国などに検査体制充実を強く求めるなどの取組みを進めて欲しい。など多くの意見・要望が出されました。



改正生協法（2008年4月1日施行）学習会開催

1948年の法制定以来、59年ぶりに生協法（消費生活協同組合法）が抜本的に改正されました。島根県生協連では、会員生協・会員外生協への学習会を昨年10月、今年2月に開催し、周知の場としました。

改正の主なポイントとして、①生協の活動範囲（区域）は定款で定めていますが、「購買事業のために必要な場合」には、本部のある県の隣の県まで広げることができるよう

になる。（行政庁の許可が必要）②組合員以外に事業提供ができるケースが法令により具体的に定められました。③生協の機関運営の規定が見直され、理事会の権限を強化・明確化し機動的な事業運営を可能にする一方、監事の権限と独立性を強化するなど、バランスのとれた運営が可能となります。2回の学習会には、約150名の役職員が参加し、学習を行いました。



**手頃な掛金と
手厚い補償で、
カーライフを応援します。**

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしを目指しています。すでに組合員は全国で1,390万人。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

カーライフを応援する、頼れる補償

マイカー共済

自動車総合補償共済

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

マナートラブルにかう!

賢い消費者になるために

消費者トラブル いろいろ

キャッチセールス 英語ができたら



「キレイになりたい」「モテたい」。誰もが抱く願望をつく悪徳商法。とくに若者が狙われています。販売目的を隠して個室などで勧誘することは法律で禁止されましたが、新手法のワナは消えません。

提供 R ろうきん
5連載

「ちよつと」の誘いにのらない

「アンケートを」「ちよつとお茶でも」……言葉巧みに喫茶店や事務所に連れていき、数人で囲んで断りきれない雰囲気をつくり、高額のカレジット契約を結びせます。化粧品や健康食品、エステ、英会話などがよくあるケース。キャッチセールスは、心理的に断わりにくくして高額の商品を売るのが目的。

格安海外ツアー、じつは…

「海外旅行に安く行けるから、話を聞かない」。会員になると海外旅行やホテル、レンタカーが半額になり、英会話のテープも毎月送られ

てくる……。これは海外旅行を口実に英会話教材を販売するキャッチセールス。たいていの人が教材を買わされたことに気づきません。

きっぱりと断る勇気を!

見知らぬ人から突然の電話で、会員権やアクセスリ、版画などを売りつけられた。これがアポイントメントセールス。呼び出す口実は「あなたが選ばれました」とか、異性からの「あなたに会いたい」という甘い言葉。断りたくても、「契約するまで帰れない」雰囲気……。最近ではまず「メル友」になり、会って見たら販売だったというケースが

増加中。断る勇気が大切です。

クーリング・オフがある

契約から8〜20日間以内なら、無条件に解約できるクーリング・オフ制度があります。「特定商取引に関する法律」の一部が改正され、アポイントメントセールスやキャッチセールス、デート商法など販売目的を隠し、個室などへ誘い込み勧誘することは一切禁止になりました。解約したいと思ったら、ひとりで悩まず、組合や労金からのアドバイスを受けて、国民生活センターや各自治体の消費生活センターに相談を。

「賢い消費者」シリーズ5 全国労働金庫協会作成の消費者問題関連記事を連載しています。



地域でがんばるNPOを応援してください。

《ろうきんNPO寄付システム》

普通預金口座からの自動引き落としで、毎月100円からできるNPO応援です。

詳しくはもよりの支店にお問合せください。

R ろうきん

消費者トラブル学習に活用できるテキスト「マネートラブルに かつ!」の改訂版ができました。
ご希望の方は最寄の営業店へ。

2007年度NPO助成金制度 4つの法人への助成を決定!

選考委員のみなさん

- ★杉原県推進委員会委員長
- ★北村労金友の会協議会会長
- ★樋口しまねNPOセンター指導員
- ★神門県労協事務局長
- ★遠藤県営業本部長

NPO助成金制度への今年度の応募は計11法人からあり、1次選考の書類審査で4法人を選定し、2/26(火)に2次選考として面接・ヒアリングを実施しました。

これをふまえて各選考委員による慎重な最終選考が行われましたが、いずれの法人とも活動目的や内容が当制度の主旨に沿ったものであり、結果として島根県の助成総額40万円を次の4法人に10万円ずつ配分し、それぞれ交付することが決定されました。

在宅医療や在宅での看取りを希望する患者・家族のネットワーク化などを行い、在宅医療期間の延長や在宅での看取りを増やすことを目的に活動しているNPO法人。

障害のある方が生きがいを持ち、自立した日常生活および社会活動が営めるための支援を行い、在宅障害者の福祉を推進することを目的に活動しているNPO法人。

①NPO法人
ターミナル、難病、
重度障害者いずも在宅
支援ネットワーク
出雲市

②NPO法人
どんぐり
大田市

③NPO法人
ぶらっと
益田市

④NPO法人
くらしアトリエ
隠岐郡

地域に暮らす誰もが「安心して暮らせるまちづくり」の推進を図り、社会貢献に寄与することを目的に活動しているNPO法人。

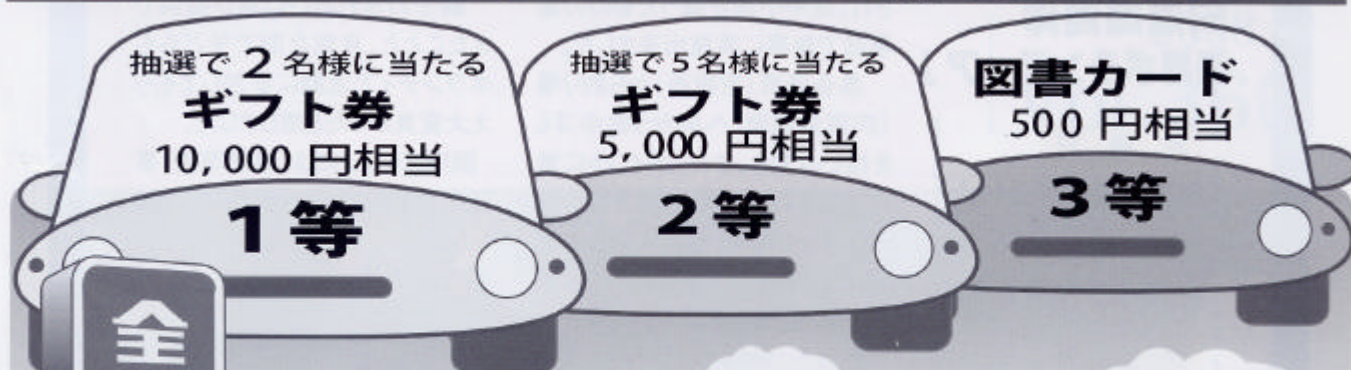
女性の視点で山陰を魅力的な土地として広く全国にアピールし、山陰とそこに暮らす人々の文化的発展、意識の向上に寄与することを目的に活動しているNPO法人。

二次選考会・プレゼン風景



車庫入庫キャンペーン実施中!!

素敵なプレゼントが年4回、3ヶ月ごとに抽選で当たります!



全
労
済

指定工場
自賠責共済取次店

**車検整備・定期点検・一般整備
それぞれに組合員価格をご用意。**

サービス内容は工場により異なりますので、事前に問い合わせください。

「自賠責共済」の契約取り次ぎもしています!

指定工場	所在地	電話番号
(有) 日進自動車	〒690-0001 松江市東朝日町233-2	0852-21-5568
(有) 島根自動車整備工場	〒690-0011 松江市東津田町1057	0852-21-5688
(有) 門脇自動車整備工場	〒685-0027 隠岐郡隠岐の島町原田6-5	08512-2-0030
(株) 安来製作所バルビット	〒692-0011 安来市安来町917-10	0854-22-3375
(有) オートボデーK	〒699-1242 雲南市大東町大東下分180-1	0854-43-3042
(有) 森山自動車工業	〒699-1332 雲南市木次町里方513-1	0854-42-1040
(有) まいにち自動車	〒693-0065 出雲市平野町552-1	0853-24-2525
(有) 西尾自動車	〒691-0003 出雲市瀬分町1921-3	0853-63-1203
(有) 山中モーター	〒694-0064 大田市大田町大田イ800-2	0854-82-0473
(有) 田原自動車	〒694-0063 大田市大田町吉永1591-1	0854-82-0316
永大整備工業(株)	〒695-0002 江津市浅利町87-5	0855-55-1510
共栄自動車(有)	〒696-0103 邑智郡邑南町矢上32-3	0855-95-1139
三和商事(株) 三和自動車整備工場	〒697-0006 浜田市下府町327-16	0855-22-2525
第一明治工業(株)	〒697-0006 浜田市下府町216-4	0855-28-1750
益田自動車工業(株)	〒698-0022 益田市有明町3-28	0856-23-1011

全労済島根県本部

2008年4月1日付 **人事異動のお知らせ**

【転出】 新藤 大一 …福岡県本部へ 【転入】 北川 雅省 …鳥取県本部から
 深田 真市 …鳥取県本部へ 北 史生 …本部から

また、機構の変更で「共済事務課」を「事業推進部門」へ統合することとしました。よろしくお願いいたします。

〈各地区労福協活動のご紹介〉

今月号では松江地区労働者福祉協議会の活動をご報告させていただきます

『ハゼ釣り & 宍道湖湖岸清掃ボランティア』

実施日
2007年9月29日(土)

開催時間
9:00~12:00

会場
松江市役所駐車場

参加者人数
101名

天候が心配(去年は雨天中止)され、途中小雨が降ったものの無事故で無事に実施出来ました。

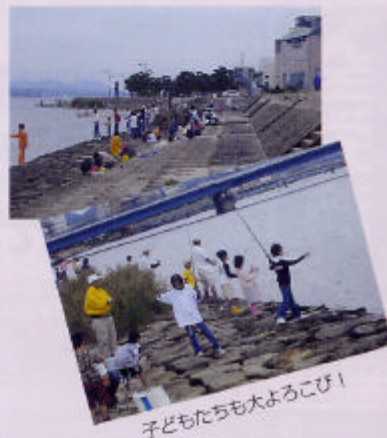
集合場所(市役所)から釣り場(宍道湖湖岸)へ向かう途中ゴミを拾いながら、また、ポイントに着いてもその周辺の清掃を行いながら、ハゼ釣りを家族で楽しむと同時に清掃ボランティアにも親子で参加しました。

釣れたハゼをうれしそうに見せてくれる子どもたち。親子ともども初めての挑戦者もおられ、ほほえましい親子のふれあいの場が提供できました。釣りしなの新鮮なハゼ(ゴズ)を早速スタッフに調理してもらい、用意した豚汁といっしょにとてもおいしくいただきました。用意した豚汁は、おかわり

する人も続出で完食!

親子のふれあいの場が提供できたことと、自然な形で子どももボランティア活動に参加してもらえ大変良かったと感じました。

調理スタッフには、事前準備・事後の片付け大変お世話になりました。



子どもたちも大よろこび!

『勤労者福祉研修会 及び交流会』

実施日 2008年2月27日(水) **参加者人数** 48(内講師2名)名

開催時間
18:30~21:30

会場
松江労働会館 401会議室

労働者の参加する労福協についてこれまでの歩みや今後の取り組み・課題についてわかりやすく勉強できました。

また、NPOについてやさしい解説で、出来ることから色々な関わり方もあることを知りました。

働くものの金融機関である労金のNPO寄付システムもこの機会を契機に浸透を図るきっかけとなれと願っています。



労福協とは...



労働者福祉協議会の略称。この協議会は労働者福祉活動を総合的に推進し、構成団体間における福祉活動の連絡調整を図るとともに、関係事業団体の育成と強化、並びに労働者福祉全般について啓発、教育、宣伝活動を行い、労働者福祉の推進を図ることを目的に活動する任意団体です。